

難しいことはありません。 とにかく始めるということが大切です。

2030年までの 全人類のミッションSDGs

気候変動、デジタル化、そしてコロナ禍…。世界は激しい変化のなかにあります。そのなかで企業が絶えず成長を続けるためには、いち早く変化に対応し、変革を自ら起こす発想、行動が求められています。

「SDGs」という言葉を新聞やテレビ、インターネットなどさまざまなメディアで見たり、聞いたりしない日はなくなりました。2015年9月国連において採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」の17目標がSDGs (Sustainable Development Goals)です。

以降、SDGsの目標達成が全人類のミッションとなり、あらゆる産業・企業のあらゆる場面での取り組みが急務になっています。

いまやSDGsは必須課題、積極的に取り組んでいなければ、社会と時代から取り残されてしまう、ということにもなりかねません。

私たちの「SDGs宣言」と「取り組み」

できることを一つずつ、着実に。

2020年～21年、これまで普通だと思っていた生活様式や考え方が激変した年でした。世の中の価値観が反対の方向へ大きく動き始めたいま、以前の常識や考え方に固執して立ち止まっている時間はありません。

山本製作所は予測不可能なこの時代のなかで、しっかりと足もとを見つめ、変革を自ら起こす企業でありたいと思っています。

大きな変革はいりません。革新は日々の積み重ねから生み出されるものです。小さなことでもできることから一つずつ、着実に。これまでも、これからも私たちのやり方です。

「デリケートで、もろく、はかなく、こわれやすく」美しい水の惑星を、ある宇宙飛行士はこう表現しました。地球という豊かでかけがえのない、しかし壊れやすいものを、次代に美しいまま手渡したい。

より良い未来を共に築くために
新創刊「ヤマモトタイムズ」

「ヤマモトタイムズ」は、お客様と山本製作所のパートナーシップをさらに強くし、より良い未来を共に築くためのコミュニケーション誌です。これからもお役に立つさまざまな情報をお届けしてまいります。ぜひ、ご愛読ください。ご意見がございましたら、お聞かせください。

私たちの「SDGs宣言」と「取り組み」

私たちの
“ものづくり”の考え方は、
SDGsの精神と通底する。

当社の製品は、北米市場では「Forever Machine」と呼ばれています。これはYAMAMOTO BRANDの製品は、部品さえ交換すれば半永久的に使用可能であることから生まれた賛辞です。

製品の価格設定は“価格競争力のあるリーズナブルな価格”、“品質の良さはあくまでサービス”という、製品開発に対しての揺らぐことのない姿勢、信念が海外での高い評価につながったものと自負いたしております。

そのために「部品を長期間にわたり、安価に供給する体制」の確立にも万全を期していることはいうまでもありません。

「製品をリーズナブルな価格」で購入していただき、「部品を安価に供給」し続けることで機械や設備の維持費を抑え、長期間使用していくことを可能にする。私たちのモノづくりに対する考え方は大量生産ー大量消費ー大量廃棄というこれまでの生活様式からの転換を求めるSDGsの精神と相通ずるものです。

また一方で、私たちは今後も「時代のトレンド」「社会のニーズ」をしっかりと見据え、比類のない「クリエイティブな製品」の開発にも力を注いでいます。

もちろん、その基準は「価格以上に価値がある。信頼して購入できる。安心して使用できる」です。ぜひ、ご期待いただきたいと思います。

真摯に誠実に、
お客様に向き合う。

最後になりましたが、私はビジネスは「誠実」であらねばならないと思っております。あらゆる面で「誠実」でなければお客様の「信頼」は得られません。

これからもつねに「お客様目線」でモノを見、考え、発想し、「山本製作所」と取り引きして良かった」と言ってもらえる会社運営を心掛けていきたいと思っております。

株式会社 山本製作所
代表取締役

山本尚平

ずっと前から、私たちは
「持続可能」という土台に立っています。

当社SDGsへの貢献

